

GMT20231118-011531_Recording

2023.11.19 日 午前 12:26 ・ 125 分 47 秒

参加者 1 00:59

は、いえ、それでは、時間になりましたので、えー、令和 5 年度奈良先端科学技術大学院大学同窓会総会を開始したいと思います。

えー、私、えー、会長を務めさせていただいております、えー、清川と申します。よろしくお願いいいたします。はい、えっと、お手元資料 でしょうか。えっと、事務の方で資料の共有をお願いいいたします。

参加者 1 01:54

はい、えっと、こちらの資料です。はい、では、進めていきます。改めまして、えー、ああ、えっと、ま、皆さん、おあ、お集まりいただきまして、ありがとうございます。はい、えーっと、それではですね、順番に議題に、す、えー、従って進めていきますけれども、まず最初、前回総会の議事要旨の確認となります。

え、こちら、資料 1、2、えー、前回、えー、今年の、えー、同窓会総会の議事要旨がありますので、

参加者 1 02:19

えー、もし、お気づきの点がありましたら、この総会が終わるまでに、えー、お知らせいただければと思います。はい、えー、それからですね、あの一、これから審議をしていきますけれども、あの、最初に、えー、私から、あの一、提案を、えー、をしたいと思うのですけれども、あの一、今回、えー、

参加者 1 02:40

ま、ハイブリッドで、総会の開催をしてはいるのですが、あの一、ま、ご都合がつかない方が大多数ということです。

で、えっと一、ま、延べですね、で、修士、えー、博士、合わせて、1 万 1000 名の方がいらっしゃって、え、この総会に参加できる方ってのはごく限られていますので、えー、審議をですね、あの一、ま、これからしていきますけれども、

参加者 1 03:00

あの、暫定的な、あの、承認ということにしまして、実際の最終的な承認は、この総会の様子を録画したものをオンラインで会員に、えー、ま、共有させていただいて、で、え、それを確認いただいて、審議事項も、当然、えー、共有させていただいて、

参加者 1 03:19

えー、その後ですね、ま、2週間程度、最大、えー、1ヶ月ぐらい、えー、こちらでまた時期を調整しますけれども、えー、十分時間を取った状態で、えー、いつでも、その、えー、総会の内容を見ていただいて、ご判断いただけるようにしますので、えー、そちらからまたアンケートで、えー、皆さん承認いただくと。えー、承認、あるいは非承認をしていただいて、

参加者 1 03:39

えー、個々のあの事項について、えー、決定していきたいと思います。えー、こちらの進め方で、あの進め方そのものは、今いらっしゃる方にしか多数決が取れないのですが、いかがでしょうか。

ありがとうございます。はい。えっと、実はその、一昨年、すでにその試みをしまして、好評だったのですが、昨年、私の怠慢でちょっとできなかったのも、復活させたいと思います。

参加者 1 04:03

ありがとうございます。えー、そうしましたら、改めまして、審議事項の1つ目から参ります。えー、審議事項の1つ目ですけれども、

参加者 1 04:21

えー、決算ですね、決算についてということで、えっとー、

参加者 1 04:30

資料2からですね。え、令和4年度の収支報告書、えー、それから、資料3が、会計監査結果報告書、えー、この2点がありますので、この資料2と資料3につきまして、えー、会計担当の小林副会長の方から報告をお願いいたします。

参加者 2 04:45

はい。えっと、副会長の小林ですと、資料、ま、そのままなので、繰り返しになることは避けて、見ていただくこととして、えっと、2点、えっと、注意、ちょっと、特に、えー、お伝えしたいことがあります。で、1つ、あの、パルサインの月額使用料、今、2万6950円で、12ヶ月ってということなんですけど、今、物価高だからですねえ、ま、我々は、この初期に契約した金額でやっていただいているんですけど、今、多分、普通に契約すると3万7400円になるので、来年からは

参加者 2 05:15

高くなるかもしれないってということで、この、この年度はこれで、もう、領収書もらっちゃってるんで、これから増えないと思いますけど、そこがちょっとあるというのが1

つと、もう1つ、あの一、ここでもですね、あ一、えっと一、この、この年度に、えっと、飯田祐子さん、ま、インドネシアの、非常にお世話になった、飯田祐子さんの、えっと、偲ぶ会の弔電と、あと、安田國雄先生の、傘寿のお祝いの会ですかね、

参加者 2 05:39

ていうのを、実際には、実際、えっと、施行してお支払いすることになってるんですけど、会計として、ちょっと年度内に支払うのが間に合わなかったので、ちょっと次の年度に支払うことになってますということです。あと、これ今決算なのであれですけど、ちょっとついでに言っちゃいますけど、えーと、色々立て替えたりした時に、えっと、振り込む

参加者 2 06:03

と、あの、銀行で振り込むと手数料がかかってしまうっていうことで、例えば、あの2000円ぐらいを、ま、学内で、ま、岡村理事に立て替えていただいた時とかに、わざわざ、その、手数料、何百円払って振り込むのかっていうところに躊躇があって、あの、そこで、タイムラグができたりとかっていうことがあったんですけど、ちょっと今、清川会長が、この南都銀行で、えっと、決済をするのに、ま一、atm とかに

参加者 2 06:26

勤務時間内に行くのが非常に難しい状況とかもあるっていうことで、えっと、来年度以降は、金額に関わらず、ま、基本は、ネットバンキングで振り込むと手数料かかるけど、そこはもうしょうがないっていうことにしたいと思っています。以上です。

参加者 1 06:41

はい、ありがとうございます。えっと、報告と提案だったかと思いますが、あの、最後のところ、えっと一、あの、立て替え等が発生した場合に、え一、できるだけ現金の授受は避けて、え一と、振込みで済ませるということを提案いただきました。私としては非常にありがたいところです。

あの、こちらも、あの、審議事項として、えっと一、ま、あの、オンラインの方々に、また、あの、諮りますけれども、この場として、特に、あの、この件、

参加者 1 07:04

反対意見ありますでしょうか。はい。じゃあ、あの、この場では、あの、大体認めていただいたことで、改めて。はい、あの、審議事項に含めさせていただきます。ありがとうございます。

会計報告、以上でしょうか。はい、ありがとうございます。え一、それでは、続きまして、えっと、資料4ですね、

参加者 1 07:26

えー、活動計画についてということで、えー、清川の方から報告させていただきます。えっと、資料、えーと、はい、えっとー、その次ですね。ここです。はい、ありがとうございます。

えっと、資料4ということで、えー、活動計画ですけれども、えー、本年、令和5年に、令和6年度の予算案を計画いたします。えー、それについての、えー、ま、提案です。

参加者 1 07:55

で、えっとー、どういう方針でやってきたかと言いますと、えー、まだ、あの、当年度はですね、決算が終わってませんので、えー、昨年度、えー、令和4年度、つまり、えっと、あの、予算を考える、えーと、こ、時点からしますと、2年前の、えー、実際の収入をベースにして、それを超えない支出にするという、プランニングで進めています。

参加者 1 08:17

ま、そうすることで、えー、ま、長年にわたって、破綻しない計画が立てられるということになっています。

で、えっとー、ま、あの一、ま、えー、新入生の加入率、書いてますけれども、これ、あの、毎年、えー、ま、あの一、よ、予定というか、あの一、プッシュしてることなので、ま、ここに関しては、スルーしまして、えー、その下の表の方を見ていただきまして、まず、収入の部、

参加者 1 08:38

え、こちらは、え、先ほど申し上げたとおり、えー、令和6年度からしますと、2年前、令和4年度の会計の実際の収入実績で、先ほど報告があった通りでして、えー、ま、南都銀行6名、ゆうちょ銀行250名、えーの、えーの会費がありました。プラス、南都銀行に関しては利息がありまして、えー、合計512万、飛んで18円の収入がありました。

参加者 1 09:00

で、えーっと、これに合い合うように支出を今回計画しているということで、提案になっています。

えー、まず、上の方から。はい。パルサインの額ということがさほどありましたけれども、えー、これで一応立ててまして、ま、大きくは違わない、はい、ということで、えっとー、大体、30万円ぐらいになってます。あと、南都銀行のネットバンキング、

参加者 1 09:20

えー、3行目に、事務員雇用費ってところがありまして、これはちょっと、長年、ちょっとくすぶってる話題ではあるのですが、えー、今のところ、あの、学生支援係が非常に、えー、支援していただいていますので、今のところ、なんとかなってるということです。

えー、4行目、学位記フォルダー作成費用、えー、これ、さ、昨年、昨年ですからね、あ、始めた、えー、施策ですけれども、

参加者 1 09:40

えー、ま、学位記ですね、えー、修士、博士の学位の後ろにですね、えー、同窓会寄贈と書いてるということで、えー、我々の方から負担させていただいてということ、これが大体60万円。それから、続きまして、5行目の、えーと、5行目からですね、あの一、ま、えー、同窓会の、えー、主催イベントあるいは支援イベントに関する支出が並んでいますけれども、えー、こちらの5行目に関しましては、

参加者 1 10:06

えー、ま、ホームカミングデー、えー、ま、以前やっていたように、ホームカミングデーで、えー、ま、飲食費をサポートするということ、まあそろそろ組み込んでいいんじゃないかというのを、えー、5行目に入れています。

それから、えっと、6行目に関しましては、えー、ま、同じく、同窓会主催イベントが色々あります。で、その中で、えーと、講師の方に、えー、招へい費、謝金を払えないかということ、え、こちら、3名、それぞれ3万円ということで積ませていただいています。

参加者 1 10:32

えー、その下、2行ですね、同窓会開催支援費、えー、10万円、5万円、え、5件、10件と書いてますけれども、ここは、あの一、ま、え、我々、現在は、同窓会の開催支援費というのは、えー、1人最大、1人最大というか、1人2000円ですね。

で、えっと、最大50人まで、合計10万円までは支援しますよということ、えー、ま、皆さんに手を上げていただくように、

参加者 1 10:56

あの一、ま、エンカレッジさせていただいてるところなんです、ま、この最大規模のものは、5件ぐらいあるんじゃないか、えー、ま、25名程度のものが、10件ぐらいあるんじゃないかということ、ま、合計、ここで、100万円積ませていただいています。

えっと、こちらに関しては、本年度の実績からしますと、まだ、あの一、ちょっと、多め、多すぎるかもしれないのですが、ま、徐々に復活してくるのではないかと期待しています。

参加者 1 11:19

えー、さらに、その下ですね、え、海外支部活動支援費、INAA、5万円と書いてます。

え、こちらの方はですね、えーと、海外支部が、あの、いくつもあるんですけども、特に、インドネシアの、えー、同窓会支部が、ま、非常に活発に、長年、えー、活動されてまして、えー、ま、それを踏まえてですね、あの一、海外の、えー、同窓会支部において、

参加者 1 11:41

ま、人数が、えー、ある程度、えー、ま、まとまった数で、活動していて、えー、ま、年間1回以上、えー、ま、総会的なものを、い、開催してるとかですね、えー、ま、そういうものに合わせて、えー、ま、順次、1万、2万、3万、4万は、最大5万円まで、

参加者 1 12:00

えー、自由に使っていい、えー、活動支援費っていうのを、えー、お渡ししようということで、えー、昨年から始めた施策です。

で、えっと、こちらの方も、来年度も、えー、積み立てたいということです。

えっと、なおですね、こちらの、その、あの、海外の、えー、支部の活動支援費に関しましては、あの一、ま、実態、えー、を考えると、

参加者 1 12:22

さらに負担させていただいてもいいんじゃないかという議論もあるかもしれませんが。実際のところ、我々も、このインドネシアの支部に関して、えー、具体的にどれぐらいの支出が実際に発生してるのかとか、あるいは、もう少し支援できるのであれば、いただけるのであれば、これこれこういうことをしますよということを考えてるとかですね、

参加者 1 12:41

えー、そういったところはあまり調整せずに金額を決めています。ですので、えー、ちょっと、あの、追加の提案、あの、混ぜこぜで申し訳ないのですが、あの一、海外支部の活動支援に関しまして、ま、実態も少し調べた上でですけども、えー、ま、最大をですね、5万円よりももう少し増やしてもいいんじゃないかという意見もあるかと

思いますので、そちらの方を、あの一、増やすという、えーと、もし、あの、活動実態に合わせて、

参加者 1 13:08

もう少し、えー、あの、上限を増額してもいいんじゃないかということについて調査させていただく、で、えっと、それをまた改めて、えっと、こちらで、あの一、ま、審議させていただいて、あの、妥当なものであれば、えー、5万円から例えば8万円、10万円に上積みするというのに関して、そういった施策を取るということに関して、また審議をしていただければと思います。

参加者 1 13:33

はい。えっと、その次ですね、えー、新入生歓迎会開催支援費とあります。え、こちらも、あの一、ま、えっと、なかなかできていない、えー、施策の1つではあるのですが、あの一、4月にですね、えー、新入生が入ってきた時に、えー、ま、少し、ま、飲食を伴うような、えー、ま、パーティーを、えー、歓迎会を開催して、

参加者 1 13:53

えー、交流を図ってもらおうということ、えー、企画したいと思います。それから、あ、その他ですね、こちらの方は、ま一、あの一、ま、諸々かかってくるので、その他、振込手数料と、えー、ま、あの、まとめて書いてますが、3万円ぐらいと、はい、これで、ざっくりですね、大体、その収入の半額ぐらいになります。で、予備費としましては、将来のウェブ改修、その他、積み立て等、特に、その、ウェブの改修等になってきますと、一気に、えー、数百万円かかったりしますので、

参加者 1 14:21

え、この辺の積み立ては必要かということで、えーと、現状、こういう予算案にさせていただいています。

えー、ということで、あの、こちらの予算案について、えー、ま、あの、先ほどのオンラインの手続きを経て、最終的には数週間かかりますが、えー、えー、審議をしていただきたいと思います。

あの、この場で、えー、ちょっとご意見がある方おられますでしょうか。

参加者 2 14:45

ちょっと、あの、質問なんですけど、えっと、一昨年は確か、あの、この同窓会主催イベントってオンラインだったので、謝金が発生してなかったと思うんですけど、今年度、昨日、3人の方に、あの、やっていただいたと思うんです。で、その金額って、ち

ようどこれ、あの、3万円掛ける3ぐらいという、そういう感じなんですかね。そうですね、はい、はい、わかりました。

参加者 1 15:05

えっとー、あの、おっしゃる通り、えっとー、はい、あの、謝金の場合ですと、あの、オンラインとか関係なく、お支払いして、旅費が発生する場合は、ま、両方サポートすることもあるかと思うんですが、これ、ここに書いてるのは、えっと、招へい費っていうのは、こう、旅費を、イメージしたので、えっと、りよ、招へい費と、謝金と、混ぜこぜで、1人3万円ぐらいと書いているんですけども、ここは、ちょっと、実は、あの一、厳密には、考えてなくて、えーと、旅費が発生した場合に、

参加者 1 15:30

あの、旅費も負担した上で、謝金は、当然、あの一、だからという、減額するわけにはいかないの、っていうところがあるかと思えます。ここで、ちょっと額が変わってくるのが実態かと思えます。

参加者 1 15:52

令和6年度予算案に関して何かご意見ありますか。えっと、オンラインの方のご意見が拾えてないのですが。

えー、もしも何かご意見ありましたら、チャットでもいいですし、あの、挙手いただけたら。あの、そのまま発言いただいても結構です。

オンラインの方はほとんどいらっしゃらないな。

参加者 1 16:20

はい。えっと、また何かありましたら戻りたいと思いますので、いつでも。えー、ま、割り込んでいただければと思います。

えっと、そうしましたら、えっと、その、えっと、下ですね、同じこの資料4の、で、次を読んでいきますけれども、ま、会員増強の施策についても、これ、あの、毎年書いてるところ。あ、どうぞ。はい、はい、はい。

参加者 3 16:40

あのあの、内容じゃないんですけども、あの一、物質 ob の杉本さん、今、参加されてますかね。

あの、入ってます。はい、ありがと。あ、すいません、ちょっとそれだけ確認したかった。

参加者 1 16:51

すいません。はい、あの、えっと、認識してます。あの、あ、後ほど、あの、えっとーは、発言いただくことになると思います。はい、よろしくお願いします。

はい。えっと、では、続けさせてください。えっと、それでは、同じ資料4の、えー、中ほどですね。えー、会員増強の施策、こちらに関して、あのですね、えっとー、修了生の入会勧誘をしないとイケないと、

参加者 1 17:12

えー、ま、新入生に関しては、まあ、あの、一定の割合で、全員ではないです、一定の割合で、毎年、えー、入会いただけるようになってきました。なんですけど、過去に関しては、全然、掘り起こせてないということで、ま、あ、のー、ま、一部の、えー、理事の方々が、ま、個別に、えー、頑張っていたらいる事例はあるのですが、あの、同窓会としては、なかなか、活動できてないです。

参加者 1 17:34

で、ですね、あのー、何が問題かというところ、あのー、えー、ま、基本、その、オンラインで、えーと、全てやり取りして、入会していただくことになるので、本人確認が大変という手続きがあります。で、そここのところを、今までは、あの、学生支援係に負担していただいていたのですが、本格的に、えー、数百人、数千人、えー、入会、一気に入会していただこうとすると、パンクしますので、どうしたものかということですね。

参加者 1 18:00

で、そこで、えっと、昨年あたりから、各研究室、え、研究室単位では名簿を保管、管理してるところがほとんどかと思うので、えっと、そこで、本人確認が取れているメールアドレスというものをうまく活用できないかということが、えー、意見として上がってました。で、ですね、あのー、物質の方で、えー、実は、あのー、少し、えー、活動していただいて、

参加者 1 18:25

えーっと、まだ、ちょっと、ち、途中経過なので、あの、この場で細かい資料は出しませんけれども、あのー、1000人ほどに、えー、ま、あの、依頼をさせていただいて、で、同窓会じゃなくて、研究会のメーリングリストに投げます。

で、えっと、受け取った方が自分の意思でオーケーであれば、入会のアクションを起こすという仕組みになっています。

参加者 1 18:47

で、ですので、本人確認のステップが省けるという仕組みですね。で、えっとー、ま、その仕組みを使って、えっとー、1100人ぐらいですかね、えー、に、あのー、アプロ

ーチしていただいて、えっと、現在、150人ぐらい、えー、入会が、あの、新たにしていただけたということで、ですので、割合としては13パーセントぐらいと聞いてます。で、えっと、元々、あの、なかなかこれは、その、50パーセントとか100パーセントか、なかなか行くものではないので、

参加者 1 19:12

あの一、ま、なかなか、ま、少ない数字かなと思う方もおられるかもしれませんが、我々としては妥当な数字だと思っています、えー、ま、こういうことを継続的にしていけないといけないということで、ま、あの、ある、ある程度は、あの、うまくいきつつあるので、そのノウハウを、あの一、ま、公開していただいて、えー、他の領域にも波及させて、えー、同様に、えー、やっていきたいということです。
はい、こちらは、あの、報告になります。

参加者 1 19:37

えー、続きまして、3番ですね、あら、新しい施策の提案についてということで、ま一、あの、中長期的に、こういうことも考えてるんですよ。なかなかできてなくて、すみません。という、え、報告なのですが、えー、ま、参考ということで、えっと、ま、上から読み上げさせていただきますが、えー、役員の安定的選出方法の確立、これ、あの、かなり大事だと思っていて、あの、それができて、綺麗に選出できましたねっていうことがないと、なかなか、

参加者 1 20:01

あの、バトンタッチしにくいなと思って、悩ましい、悩んでるところなんです、未達成です。えー、事務員雇用に関しても、未達成です。
で、えっと、ニューズレターの発行ですね、これ、あの、会誌の発行というのがですね、えっと、今回も、実はアンケート取らしていただきました。えー、同窓会に何を期待しますか。というところで、やっぱり、あの一、トップに来てますね、あの、会誌、発行してほしいという意見が多いです。
えー、ですので、これは、あの一、ま、以前から、ま、こういうやり方だったら、できるんじゃないかっていうのは、内部では議論はしてるのですが、えー、何かの形でできればと考えて、えー、います、はい、

参加者 1 20:33

それから、ま、東京フォーラム、あの一、やはり、関東に就職される方が多いので、え一、ま、関東のイベントと連動した同窓会の開催、えー、できないかなということ、え一、引き続き、考えていきたいと思います、はい、え一、講演会以外の、在校生

と、OB、OGの接点を作るイベント、はい、えっと、これはですね、あの一、特に、その、え一、ま、企業に就職した方々が、え一、ま

参加者 1 20:58

あ、青田刈りではないですが、研究室、あの、学校に戻ってきて、え一、ま、自分の研究室の後輩と、え一、ま、接点を持つことは、ま、普通かと思うんですが、ま、それを、あの一、ま、学校レベルで行って、え、ジョブフェア、え一、みたいな形で、実施するということを、え一、あ、え一、2年前から、え、昨年、昨年からやっています。それから、海外支部の活動支援に関しては先ほど申し上げた通りですね。

参加者 1 21:21

それから、新入会歓迎会、これ、あの、オンラインでは、実は、え一と、昨年させていただいたり、あの、ちょっと、できたりできてなかったりしてるんですが、え一と、またちょっと体制を整えて、え一、ま、物理的に、対面で、え一、4月に、新入生の歓迎会が来年度できればなど考えて、え一、います。はい。えっと、その下も、かなり古い話題になりますが、ホームページの刷新を行っています。

参加者 1 21:45

オンライン集会の開催、開催支援も行っています。はい、会員システム、パルサインですね、導入をさせていただいてます。ということになります。はい、えっと、その他、ということで、あの、特に、え一、この場で、何か追加の意見。え一、提案、ご批判等ある。ありますでしょうか。

なん。なんでも結構です。

参加者 1 22:21

大丈夫ですかね。はい、また、あの、途中でお願いいたします。えっと、そうしましたら、え一と、その、次の議題ですね。

え一、役員再任に関しまして、え一、ということで、その次の資料をご覧ください。ちょっと、あの、えっと、役員の、あの一、引き継ぎ、え、バトンタッチの体制がちょっとうまく整ってませんで、

参加者 1 22:42

えっと、今回に関しましても、えっと一、少し、あの、本当に事務的に情けない話なんですけど、あの、私の怠慢がほとんどの理由なんですけれども、あの一、すでにですね、あの、この5月の総会で、え一、任期が切れてしまってる方がほとんどになってしまってます。はい。で、えっと一、遡及的に、ちょっと空白をあけてはいけないので、

参加者 1 23:05

遑及的に、再任をさせていただきたいという、あの、へんてこな状況をお願いしないといけない状況でございます。で、えっと、ほとんどの、あのー、理事の方、役員の方ですね、えー、ま、そういう形で、再任をお願いさせていただきたいということです。で、えっとー、1つですね、あのー、えーっと、あ、て、任期中の方は1番下の監査と顧問の方は任期中なので、問題ございません。で、えっと、お1人、えっと、岡村先生に関しましては、えーっとー、ま、ちょうど、この総会がですね、任期が切れるタイミングでしたので、

参加者 1 23:37

あの、引き続きお願いできればということで、あの、ま、あの、空白をあけてはいけないので、あの、この場では再任をぜひお引き受けいただきまして、えー、いや、あの、早々に辞めたいんだということであれば、あの、早々に次の方を探していただければと思います。はい。で、えっと、改めまして、ここです、えっと、ひと、あのー、一部、あの、変更がございまして、再任とかではなくて、変更がございまして、

参加者 1 24:02

えっとー、まず、あの、え、永らく、副会長をしていただきました、あのー、井上、えー、明久、えー、先生、えー、副会長がですね、えー、今回、退任されるってことです。えっと、この、ちょっと簡単にご挨拶をいただきたいと思います。えー、それから、同じく安原理事ですね、物質の安原理事が、えー、副会長の方に、えー、就任いただけるということです。えー、こちらの方も、ま、内諾をいただけてるんですが、

参加者 1 24:29

あの、これ、あのー、ま、総会をです、オンラインの、あの、数週間の、オンラインも含めた総会で、えー、承認をいただければと思いますけれども、えー、やは、副会長に、えー、なっていたらと思います。で、えっとー、一方ですね、新たに、えー、部室の、えー、理事としまして、えー、杉本学様に入っていたらということをお聞きしております。

参加者 1 24:50

えー、オンラインで、杉本さん、えっと、来ていただけると、いただいたようなので、えー、井上さんの後に、あの、ご挨拶をいただければと思います。ということで、あのー、井上さんとですね、杉本さん、お2人、えー、簡単にご挨拶いただければと思うのですが、お願いいたします。

参加者 3 25:07

あの一、今まで副会長をさせていただきました井上明久です。あの、大変長い間、あの、お世話になり、ありがとうございました。あの一、え一、皆様の、あの一、役員の皆様のおかげで、あの、物質の方の、あの一、ob会の方の体制も整ってきましたので、あの一、今後とも、あの、ちょっと、私、物質の一応obとなって、あの一、同窓会活動

参加者 3 25:32

頑張っ、これからも頑張っしていきたいと思っますので、よろしくお願っします。以上です。

参加者 1 25:39

ありがとうございます。え一、オンラインすぎもとさん、いかがでしょう。

参加者 4 25:43

あ、こんにち。

参加者 1 25:46

こんにち。

参加者 4 25:48

えっです、ヤスハラ先生から、あの、お声がけいたっです、今回新しく理事に就任することになりました。就任するかどうかわからなっですかね。就任することになりました、スギモトです。

え。私はです、あの、物質を終了して、現在は、あの、実家の家業である学習塾で受験指導をしてるんです。

で、あの一、私も高専卒なんですけど、ま、ナイスとも光線からく子が多いってことで、

参加者 4 26:12

あと、仕事柄、あの一、ま、後選受験生、あと、後、先生と関わることも多いので、また、なんか、あの、違っ形で、ナスに貢献できたらなっと思っしております。よろしくお願っします。

参加者 1 26:24

是非、よろしくお願いいたします。ありがとうございます。あの、毎年、杉本さんは、あの、いろんなご意見いただいて、あの、総会にも出席いただいているのは承知していますので、ぜひ、あの、期待しています。よろしくお願いいたします。

はい。ということで、あのー、重ね重ねが、承認はこれからですので。はい。あのー、引き続き、あの、もう少し待っていていただければと思います。

はい。ということで、えっと、役員に関しまして、役員の再任に関しまして、3人だけではなかったですが、に関しましては、以上となります。

参加者 1 26:53

えー、審議事項は以上でして、ま、審議事項、ま、承認まで行きませんが、審議事項に関して、あのー、改めて、ありますでしょう。

参加者 1 27:08

大丈夫ですかね。はい。えっと、そうしましたら、その次の報告事項、ま、時間切れの場合、報告なので、えー、ここはカットできるということで、後回しにしていますけれども、えー、報告事項を、えー、ま、ざっと、駆け足で報告させていただきます。資料6をご覧ください。

参加者 1 27:26

え。まず、あの、登録会員数ですね、あの、先ほどもありましたけれども、えーっと、10月29日現在と、ちょっと、少し遡りますが、えー、約3500名の、登録をいただいています。

はい。あのー、ま、延べでは11000名を超えていますので、えー、もう少し登録したいということですね。

はい。で、2番、えー、同窓会活動の周知、同窓会入会案内の配布ということで、

参加者 1 27:49

ま、あのー、学位記授与式とかですね、えー、ま、新入生のオリエンテーション等で、同窓会の宣伝をさせていただいています。

えー、それから、3番ですね、先ほど、あのー、えっとー、ま、納付率60パーセントを目指したいということなのですが、ま、現在、実際どういう状況ですかということなのですが、令和5年度新入生ですね、回避納付率は、10月29日現在で、えー、ま、あの、半分強と、6割弱という状況です。はい。え、ただ、あの、この数字はですね、えー、昨年、一昨年に比べると、少しずつ増えてます。

参加者 1 28:21

えー、ですので、あの、ま、あの一、ま、仕方なく、こういうの払うものなのかという、えーのが少しずつ浸透してきて、えー、いただいているのかなということで、あの、ま、その負託に応えないといけないという、まあ、ところだと思います。

それから、4番ですね、同窓会集会の報告ということで、ま、少しずつ、あの一、復活してきていますね。で、えっと一、

参加者 1 28:44

あの、ま、去年の4月、3月までの分と、4月以降の分と、混ぜこぜで書いてますけれども、えー、ま、えー、物質バイオ、えー、等ですね、えー、4件ほど、あの一、ま、パーティーがありましたし、えー、INAA、あの、インドネシアの方の、ま、あの、毎年の、えー、同窓会ですね、えー、総会は、あの夏に、今年もありましたということです。

参加者 1 29:06

えー、それぞれの詳細は、あの、その、さらに下に、え、後ろに、別紙がついてますので、ご覧ください。

それから、えっと、5番ですね、えー、キャリア支援係との連携ということで、あの一、ob講演会えーですね、同窓会講演会えー、を開催しています。

で、ちょうど、あの、第5回が昨日ありました。えー、3領域から、えー、1人ずつ出てきていただきまして、非常に面白い、

参加者 1 29:31

あの一、ためになるっていうか、私から見ても、あの、非常に、へー、なるほどっていう、あの、誇らしいと同時に、あの、すごいなってっていう、あの、尊敬するなっていう、の、方々で、お三方でしたけれども、あの、こちら、渡邊さん、来ていただけてますけど、はい、あの、非常に面白かったです、はい、ありがとうございます。で、えーっと一、6番ですね、

参加者 1 29:50

えー、あの一、非常にゆかりの深い方々が、あの一、今年、あの、えー、去年からですね、えっと一、ばたばた、ばたばた、あの、逝去されまして、えーっと、2件、あの一、ま、それに対する、対応させていただきました。お一方は、元学長、山田康之（やまだやすゆき）先生ですね、

参加者 1 30:08

はい。で、えっと、もう、あ、もう一方は、あの一、飯田祐子（いいださちこ）さんでして、こちら、あの、ここに書いてます通り、あの、インドネシアの、えー、ま、留学生のサポートということで、非常に、えー、顕著な貢献をされた方でございます。で、そちらの方に、えー、弔電を打たせていただいております。

参加者 1 30:26

ということで、えっと、非常に駆け足ではあるのですが、えー、あの、この、ざっとした、1年間のですね、活動の報告をさせていただきました。

その、さらに下の、後ろですね、あ、ほ、あの一、活動報告に、の、え、別紙に関しては、もう各自ご覧くださいということで、えー、流したいと思います。

ということで、えっと一、ま、その他の、意見交換ということで、あの、この場で、もし、何かあれば、えー、お願いしたいのと、えー、ま、その、あの一、話のですね、ネタにですね、

参加者 1 31:00

えー、まだ、あと10分少々ありますので、えーっと、どうしましょう。清川の方から、あの一、これもちょっと遅れてしまった、遅れに遅れてしまったところなのですが。えー、つい、えー、2日ほど前にお送りしたあのアンケートの回答がすでに50件ぐらい集まってきていまして、えー、そちらの方を見ながらちょっと活動が、あの、えー、意見交換ができればなと思います。えー、

参加者 1 31:32

はい。あの、清川の方から、ちょっと画面共有させていただきます。はい、はい。あ、あの、メールアドレスは見ないです。見ないです。はい、ちょっと、えっと一、大丈夫です。映さないです。

えっと、

参加者 2 31:44

あ、あと、ちょっとさっきの報告事項で補足させていただきたいんですけど、いいですか。あ、どうぞ。はい。あの一、供花と、弔電のところで、山田康之先生と飯田祐子さんに出しています。で、あの一、去年の時に、飯田祐子さんのお別れの会に、あ、理事会でしたかね、あの、ぜひお花を出そうっていう話だったと思うんですけど、ま、昨今の状況で、ま、そういう、お花とかを受け付けない形で、あの、

参加者 2 32:08

あの、受け取りませんっていうことだったので、まあ、せめて弔電を打とうということで、弔電を打っています。

あともう1つ、なんかこう、せっかくこういう貢献のあった人に、どういう時に渡すかっていう決まりを決めようっていうご提案も、確か上岡理事からあったと思うんですけど、なかなかですね、こう、た、タイミングよくっていうか、亡くなられて、すく、家族でそういう、お葬儀とかを済まされて、

参加者 2 32:32

後から発表されたりとか、あと、お花とか、弔電、でも、受け取らないっていう方とかもいて、ま、なかなか難しいので、ま、やっぱり今後もケースバイケースでやっていくしかないのかなと思っています。ということです。

参加者 1 32:43

はい、あの、ありがとうございます。あの一、もちろん。はい。ケースバイケースで、この場合は弔電で最終的に、あの一、良かったかなと思います。はいはい。補足ありがとうございます。えっと、そうしましたら、あの、先ほど申し上げた通り、え一、清川の方から画面共有させていただいて、

参加者 1 33:07

ちょっと余計なウィンドウが色々映ってるので、ちょっと独立させたいんですが。

参加者 5 33:12

よいしょ。

参加者 1 33:13

あ、逆ですね。ちょっと待ってください。えっと、ちょっと待ってください。は、画面消し。

参加者 1 33:33

はい。あの、ちょっと、えっと、一部名前が見えないと思うのですが。はい、あの、えっと、何が言いたいかとですね。あの一、今まで、あの、集まってる49件は、えっと一、ま、ほぼ全ての年度にわたって満遍なくご意見をいただけてるようです。ちょっとこれ以上上にスクロールすると、名前が出てしまうので、あの、お見せしません。えっと一、で、あの一、各領域ですね。まあ、まあ、まあまあ、ま、大体満遍なくご意見いただけてまして、

参加者 1 33:59

入学年度もこの通り大体満遍なく来てまして、で、この下ですね、どんな事業をする、するのがいいですかっていうところなんです、えっとー、ま、トップではなかったですね。会誌の発行をやっぱり求める方がほぼ半分ですかね。

で、名簿の管理もこれしない。これ、名簿の管理をしない同窓会は多分ないと思うので、ま、これ当然だと思うんですが、えー、これ6割ぐらい。

参加者 1 34:19

それから、一番多かったのが、現役学生の支援をしっかりとあげてくださいということで、非常にありがたいご意見をいただいています。はい。あの、このところ、ま、現役学生の支援は、ま、そこそこ、えー、それなりにやっているのかな。もう少し、何かできることはないかなと、えー、考えてるところですね。だから、名簿の管理は当然やっていますと。

なので、まあ、上位3つの中で、去年、あの、前回も大体、そんな感じだったんです。じょ、上位3つの中で、やっぱ、できてないのが、会誌の発行なので、

参加者 1 34:45

あの一、ま、ここ、かなり負荷が高いので、ためらうところでもあるのですが、えー、やっぱ、皆さん、期待するところなので、なんとかできないかなと、えー、考えております。

で、一方、だから、個別集会の開催支援ですね、あの、飲み会にお金を、サポートってことですけど、ま、そこは、あの、やっぱ、期待する方は多いのですが、ま、意外と、多数ではないということですね、はい、えー、年次集会の開催、はい、とか、はい、講演会の開催などが、並んでいます、

参加者 1 35:13

はい、で、あの一、ここですね、えー、ま、匿名で、いろんな、えー、意見をいただいています、えー、どんな案が、あー、活性化のために、あの、あるでしょうか。ということで、やっぱ、あの、えっと、それぞれの方が、気楽に、あの一、意見交換ができるsnsみたいなものを提供するのがいいんじゃないか。以前、その slack が

参加者 1 35:32

良かったのですが、無料だと3ヶ月でメッセージが消えてしまうってことになってしまっていますので。ま、discord。確かに1つの選択肢かもしれませんが、はい。

えーと、支部をもう少し、あの一、ま、地域ごとに組織したらいいんじゃないか。はい。企業講演の実施。

それから、修了生同士のネットワーク活用。はい。どういうふうになればネットワーク活用できるか、ですよね。

参加者 1 35:56

えー、卒業しての情報交換の仕組み。あ、これも sns に繋がるかなと思います。何か強制的な仕組み。ま、そこまでしなくても、いいんじゃないかという気もしますが、はい、sns、ちょっと、これ、ちょっと考えた方がいいのかな。多いですね。はい、海外からの、えー、遠隔の入金ができるように、これ、あの、ちょっとくすぶってる話題ですが、なかなか海外から、あの一、ま、あの、

参加者 1 36:17

えっと、送金ですね、えー、海外送金の手数料が非常に高いんですが、そういうところを、ま、なんとか回避しつつ、あの、PayPal とかですね、あの、うまい方法がないかなっていうのは、考えてはいるのですが、なかなか、えー、いい案がないというところですね、はい。これは、行きたいと思わせるイベントを地道にやっていくべきだ。はい。それから、えーNAIST 卒業生とつながることができるシステム。やっぱりこう、sns ですかね。それぞれの方が直接つながれるってのはいいかもしれないですね。はい。

参加者 1 36:46

えーっと、ま、地域単位。はい、いくつか意見まとめられるかなと思います。えー、ま、。はい。それから、研究職以外で活用されてる方。はい、International student gathering はい、そうですね、えー、ま、メールマガジン。同窓会の存在を初めて知ってた方も、今回もやっぱりおられましたね。はい。それから、同窓生、研究室のネットワークのつながりを、まー、うまく活かすべきだ。

参加者 1 37:22

集まらないので、えー、ちょっと、ま、東京だとか、地域開催、オンラインの開催もやっぱり継続していく、オンラインの開催は別にやめるんじゃないかって、継続していくべきなのかなと思いました。はい。えー、情報発信頻度を増やす。

参加者 1 37:37

はい。卒業生に向けた就職支援、ま、少し、あの、以前に比べると増やしてはいますが、もう少しやっていかないといけないというところですかね。で、最後ですね、あの、この同窓会、役員になってもいいと思いますかっていう質問、今年、増やして、増やさせていただきまして、あの、非常に、あ、私はポジティブに捉えたのですが、あの、13.3 パーセント、これ実は6人いらっしゃいまして、えっと一、

参加者 1 38:01

ぜひお声がけをしたい、させていただこう、ちょっと、あの、またあの、現役の理事の先生、あの、役員の方にもお伺いしますが、ちょっとこれ非常にありがたいお話で、これは、あの、こういったアンケートは毎回しないと発掘できない。そうでないと、あの、あの、良くも悪くも近隣の方に、どんどんバトンタッチして行って、すごい閉鎖的に見えてしまうっていう方になってしまうので。バトンタッチする側からすると、そこしか探せないんですよ。

参加者 1 38:25

なんだけど、それ以外の方から見ると、内輪でやってるってことになるので、非常に良くないので、あのー、ま、こういう、その、あのー、担える方を探すっていうのは、継続的にやりたいなと思いました。

はい。またちょっと、あの、この他、あの、その他のですね、意見もたくさんあるのですが、また、あの、この、匿名の形で、これは、あのー、えっとー、審議事項を皆さんに訴えかける、あの、資料につけさせていただきますので、これも参考に、また

参加者 1 38:49

ご覧いただければと思います。はい。あの、ここ踏まえて、まだ少し、5分ぐらいありますが、ちょっと自由に何かしら発言いただければと思いますが、いかがでしょうか。

参加者 6 38:57

よろしい。

参加者 3 38:59

あの、初めのアンケートの集計のところに開始。

あの、皆さん、要望があったと思うんですよ。あかい会方針ですね。

参加者 7 39:09

これ

参加者 3 39:10

は、皆さん、これかでご要望なんですか。

参加者 1 39:13

いや、神である必要は全くないと思いますよね。オンラインですよ。はい。そうしたらいいんですけど。あ、なるほど。はい

参加者 3 39:20

はいはい。もし、紙やった。莫大な費用かかる。郵送費。

参加者 1 39:23

あ、もちろんもちろん。はいはい。

参加者 3 39:24

あの、私は反対やなということを使うときたいなと思った。あ、

参加者 1 39:27

了解です。はい。あの、以前、こういう方法だったらできるかなって、

参加者 3 39:31

あの、メールとかですよ。そ、

参加者 1 39:32

オンライン。はい。あ、いや、その、それぞれ、えっと、obの方に、ま、100文字とか200文字とか近況報告を依頼して、で、それを、あの、まとめるとです、数十人ぐらいずつ、あの、こんな活動、最近こんなことしてますみたいなのをまとめて、で、それをこう、順繰りにいろんな方に毎年お願いするとかするだけでも、

参加者 1 39:50

なんとなく雰囲気伝わるかなとか、あの、はい。あの、継続的に、そんなに負担にならないやり方でできないかなっていうのを考えていました。

参加者 3 39:57

いや、あの、紙でなくて、郵送でないんですよ。あの、全然いい。

参加者 1 40:01

あ、はい、ありがとうございます。それ

参加者 3 40:03

だけなんです。すいません

参加者 7 40:08

すいません。同窓会理事、明さです。まー、あの一、色々ご提案いただいて、すごく面白いなと思ったんですけども、ま、やはりあの一1番、まあ同窓会の役員も大きくftかからずにやれることっていう意味では、やはり交流の場、先ほどディスコードっていう話もありましたけど、無料にこだわらずに、もうそこは同窓会としてそういう場を提供するということで費用を出してでも、まあチャンネルを例えば入学年度ごと、領域ごとに作ってっていう場を作って、まあパルサイン内でちゃんと会員登録した個人が特定、あの

参加者 7 40:38

本人確認ができています。ここにアクセスできるようにするっていうような仕組みっていうのは、あの、取り組んでもいいのかなっていうのは思いました。ま、それは総合効果ですね。そういうことが使えるんだから、パルサイン登録しようっていうことで、名簿の方にも、あの、登録してくる方増えると思いますし、そこで実際に交流が、ま、広がれば、また次の策定のも打てるかなと思いますので、ここは私は前向きにやってもいいかなと思います。

参加者 1 40:59

ありがとうございます。

参加者 1 41:03

その辺り。はい。あの、snsに関しては、あの、巡回でも十分。はい、あの、させていただけるとかなと思いますね。いかがでしょうか。

参加者 7 41:18

ああ、聞こえていますか。はい、えっと一理事のヨシモトと申します。えっと、まあ、あの、同窓会の、ま、活性化のための、まあ、1つの案というか、多分、賛成意見、反対意見、出てくるかと思うんですが、えーっと、今の、現役学生の方を役員に、えっと、各領域から、1人ずつぐらい、

参加者 7 41:41

入れてもいいのかなっていうのは、思っています。っていうのも、自分が現役の時、ま、まだか、えっと、同窓会自体が、始まったばかりで、えーっと、今、一つ、こう、どういう活動してるかが、見えてない、で、自分が終了してしまってから、じゃあ、同窓会とつながるかって言ったら、なかなか繋がらない状況で、えーっと一、

参加者 7 42:02

ま、しばらく、過ごしてしまって、ま、幸い、わ、た、幸いなのか、幸か不幸かわかりませんが、まー、私の場合は、ちょうどナイスの教員として帰ってきたので、まあ、こうやって、同窓会と、また繋がることができましたけども、まあ、あの一、なかなか、えっと一、現役世代でも、やっぱり積極的に同窓会かどうかって言ったら、えーっと、多くの方はそうじゃないかもわからないですけども、まー、中には、各領域、数名とかは、そういう活動に積極的な方がいるんで、あらかじめ学生時代に繋がりを持っておいて、

参加者 7 42:33

で、また、えーと、就職されてから、余裕があれば、そういう同窓会活動に貢献いただけるっていう仕組みを、あ、あの、持続性が保たれるんじゃないかなっていうのは、ちょっと、あの、ボーっと考えた時に思いつきました。ご意見いただければなと思います。

参加者 1 42:49

非常に、非常にいいアイデアかなと思います。はい、ありがとうございます。まず、生徒会ってあるんですかね。生徒会ってあるんですか。学生会ってあるんですか。聞いたことない。あー、なんか、あの、ま、そういうの、組織して、あ、あの、応援してあげるようなことも、まあ、先ほどの新入生歓迎会とかも含めて、ちょっとボトムアップしていくのがいいかもしれませんね。はい、ありがとうございます。大体あと1、2分なんですけど、なんか、えーと、追加で、あ、いいですか。あ、

参加者 3 43:17

あ、ああ、理事のうえおかです。えっと、2点あるんですけど、えっと、その他の意見交換の資料のところにある同窓会支援、ま、10人以上、ハードルが大きいので、えーと、もう少し緩和してはどうですかというのが、い、出たと思うんですが、こ、これに関して、多分明確に、あの、

参加者 3 43:35

対外的にアナウンスしてないと思うんですよね、あの、同窓会支援、もう少しハードル下げたらどうですかっていう。なので、これはホームページとかでちゃんとアナウンスをした方がいいんじゃないのかというのが1つ、1件と、あとか、関西エリア以外でのそういう何か、えっと、同窓会イベントできませんかという意見が先ほどのアンケートにはあったと思うんですけど、

参加者 3 43:59

今、ほ、ほほほほ学生説明会、オンラインでやってると思うんですけど、なんかその、関西以外でそういう運動できそうなイベントって大学

参加者 2 44:09

であるんでしょうか。

参加者 1 44:24

東京フォーラムがなくなって以降は、もしかしたら関西以外でやってるものはないかもしれない。

参加者 1 44:35

あはは。か、関係ないな。つ、ある。それも関西ですよ。うん。東京でやってるとかもうない。なるほど。あー、だから、そういう相乗りはできないんだけど、やっぱり同窓会として、まあ積極的に、うん、あの、内装がやってるやってないに関わらず、陶芸でやるというのはありかなとは思いますが。はい、ありがとうございます。まだまだご意見あるか、というか、これからようやくだんだん、あの、その、気になって発言したくなってきた頃かと思うんですが、あの、長になってしまいます。

参加者 1 45:03

えっと、どうもありがとうございます。また引き続きご意見いただければと思います。はい。あの、オンライン審議しますので、えっと、そこでも引き続きご意見いただければと思います。ありがとうございました。これで、えー、本年度の同窓会総会を終わりたいと思います。